



代表質問 眞志会 澤本 長俊 議員

今後の環境センター
後継処理施設建設に
向けて

問

建設地の周辺区への対応を
考えるべきではないか

答

ご意見等を十分聴き取らせていただき
検討することが重要と考えます

答

市長

問 周辺区への対応はどのように
考えているのか。

これまでの公募方式による
経緯の中で、応募地周辺地域
での説明会では、施設の設置、
運転に対する生活環境や農林
漁業への影響をはじめ、多く
のご不安やご懸念が寄せられ
てきたところであり、今後に
おきましても、周辺地域のご
意見なども十分聴き取らせて
いただき、検討することも重
要であると考えています。

問 二度の公募でも予定地選定
に至らなかった結果をどのよ
うに捉えているか。

答 市長

応募区をはじめ、周辺地域
のご理解や合意形成など、そ
れぞれの地域のご負担は決し
て小さくないものと捉えてい
ます。また、ごみ処理施設の
技術の進歩による安全性は確
立されてはいるものの、一部
の方々には、未だ不衛生な施
設との先入観も少なからず
残っているものと考えていま
す。今後におきましては、市
の責任において、主体的に候

補地を選定し、地元および周
辺地域の合意形成を図りなが
ら、事業を進めていきます。

問

令和11年度完成予定期限は
変更しないとのことだが、ス
ケジュール的に厳しいのでは
ないか。

答 市長

現在、市の燃やせるごみの
処理は、三重県伊賀市に所在
しております民間事業者に緊
急避難的に委託をし、伊賀市
および民間事業所が設置され
ております地元区に令和11年
度までの間、受け入れを容認

いただいているところです。
新ごみ処理施設の整備は、現
在の市における最重要課題と
位置づけ、一刻も早く、廃棄
物の処理及び清掃に関する法
律に基づき、市の一般廃棄物
処理責任を果たすべく、現在、
候補地の選定に向けて、鋭意
検討を進めているところです。
これ以上引き延ばすわけには
いかないというのが、私の偽
らざる思いであり、令和11年
度までに竣工あるいは運転開
始を実現しなければならぬ
という強い意志を持って取り
組んでいきます。

